

GMO フィナンシャルHD

2018年12月期第2四半期

決算説明会

STOCK CODE:7177

代表執行役社長 グループCEO 鬼頭 弘泰
常務執行役 グループCFO 山本 樹

2018年7月27日

■ 決算概要

事業概況

Appendix

第2四半期決算(1-6月) | サマリー(前年同一期間比)

- 半期ベースで過去最高業績

| (億円) | 前年同一期間参考値 (2017年1-6月) | 2018年12月期Q2 (2018年1-6月) | 前年同一期間比 | |
|-------|--------------------------|----------------------------|---------|-------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 営業収益 | 124.5 | 173.5 | 49.0 | 39.4% |
| 純営業収益 | 114.1 | 163.5 | 49.3 | 43.3% |
| 営業利益 | 37.3 | 58.6 | 21.2 | 56.8% |
| 経常利益 | 37.1 | 58.6 | 21.5 | 58.0% |
| 最終利益 | 25.1 | 39.2 | 14.1 | 56.5% |

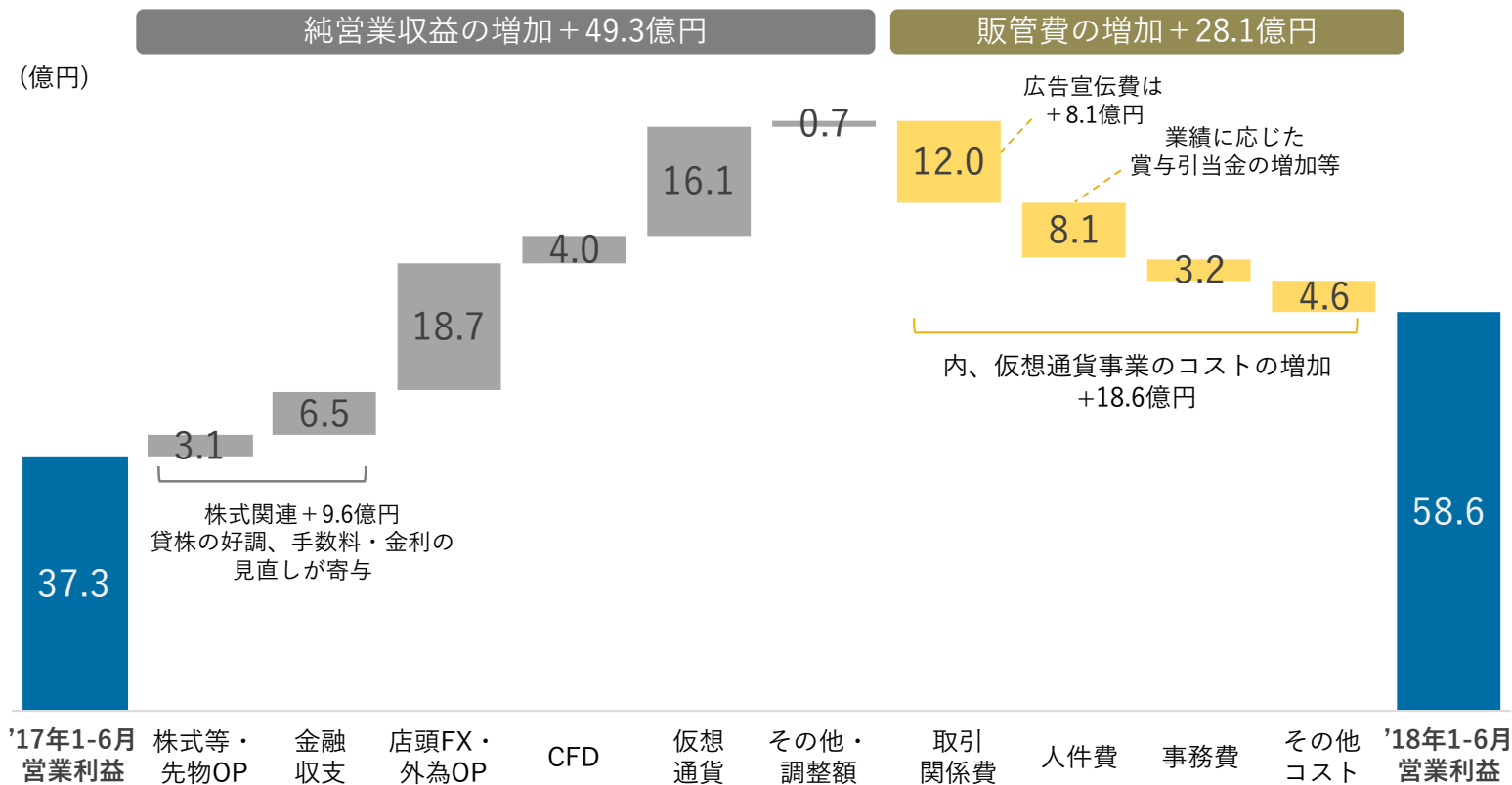
当社は、2017年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更しています。本資料の前年比較は、2017年1月1日～6月30日を前年同一期間として算出した参考数値との比較により記載しています。

第2四半期決算(1-6月) | セグメント別の状況(前年同一期間比)

| | | 2017年1-6月 | 2018年1-6月 |
|---------|------|-----------|-----------|
| (億円) | | | |
| 証券・FX事業 | 営業収益 | 120.3 | 153.3 |
| | 営業利益 | 36.4 | 60.2 |
| 仮想通貨事業 | 営業収益 | — | 16.1 |
| | 営業損失 | — | -2.5 |

第2四半期決算(1-6月) | 営業利益増減(前年同一期間比)

- 店頭FXなど証券・FX事業の好調が牽引して増益の着地



第2四半期決算(4-6月) | サマリー(前四半期比)

- 四半期ベースで過去最高の営業収益

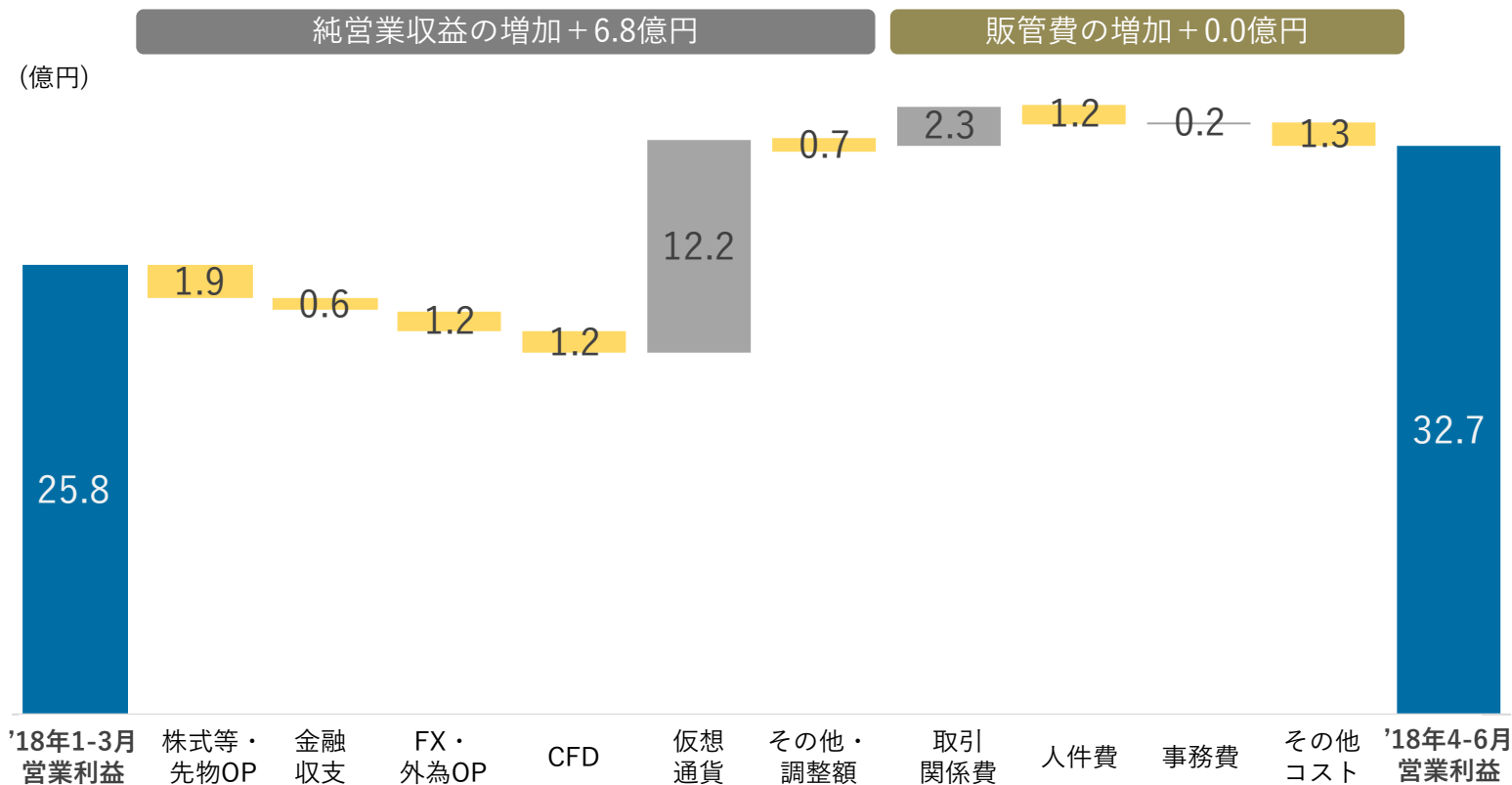
| (億円) | 2018年12月期Q1 | 2018年12月期Q2 | 前四半期比 | |
|-------|-------------|-------------|-------|-------|
| | (2018年1-3月) | (2018年4-6月) | 増減額 | 増減率 |
| 営業収益 | 83.4 | 90.0 | 6.6 | 7.9% |
| 純営業収益 | 78.3 | 85.2 | 6.8 | 8.8% |
| 営業利益 | 25.8 | 32.7 | 6.8 | 26.6% |
| 経常利益 | 25.7 | 32.9 | 7.1 | 27.9% |
| 最終利益 | 17.8 | 21.4 | 3.6 | 20.6% |

第2四半期決算(4-6月) | セグメント別の状況(前四半期比)

| | | 2018年1-3月 | 2018年4-6月 |
|---------|------|-----------|-----------|
| (億円) | | | |
| 証券・FX事業 | 営業収益 | 79.2 | 74.0 |
| | 営業利益 | 32.9 | 27.3 |
| 仮想通貨事業 | 営業収益 | 1.9 | 14.2 |
| | 営業損益 | -7.6 | 5.0 |

第2四半期決算(4-6月) | 営業利益増減(前四半期比)

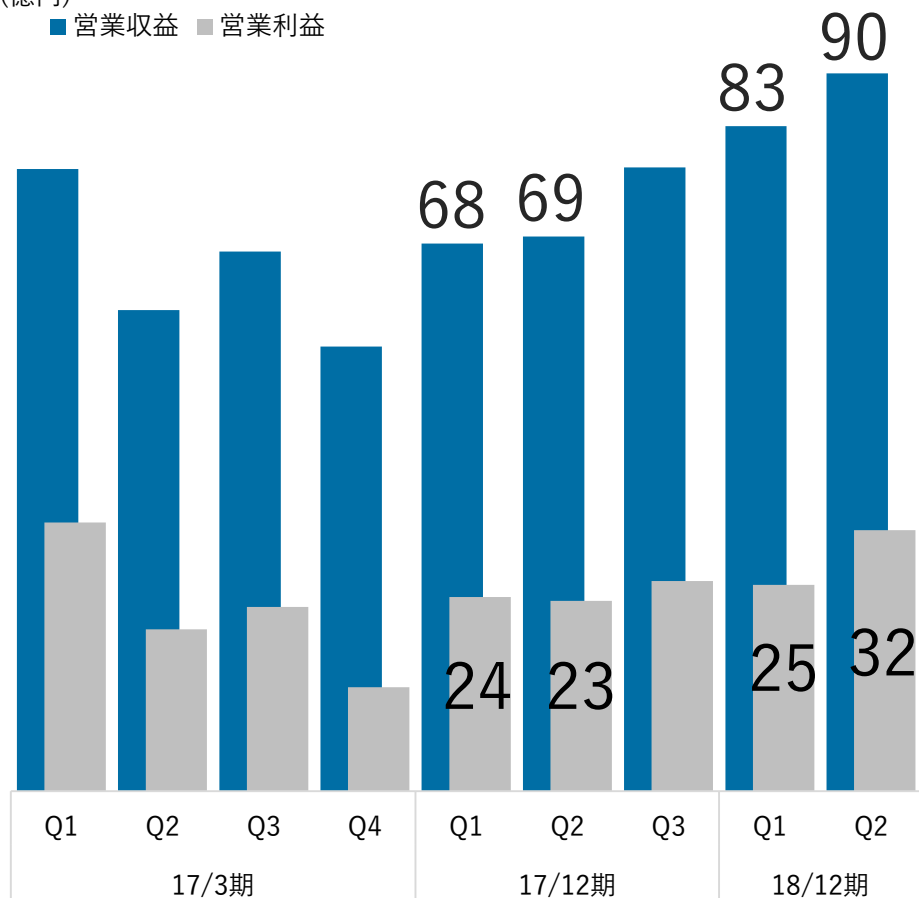
- 仮想通貨事業が牽引し、前四半期比で増益の着地



四半期業績推移 | 営業収益・営業利益

(億円)

■ 営業収益 ■ 営業利益



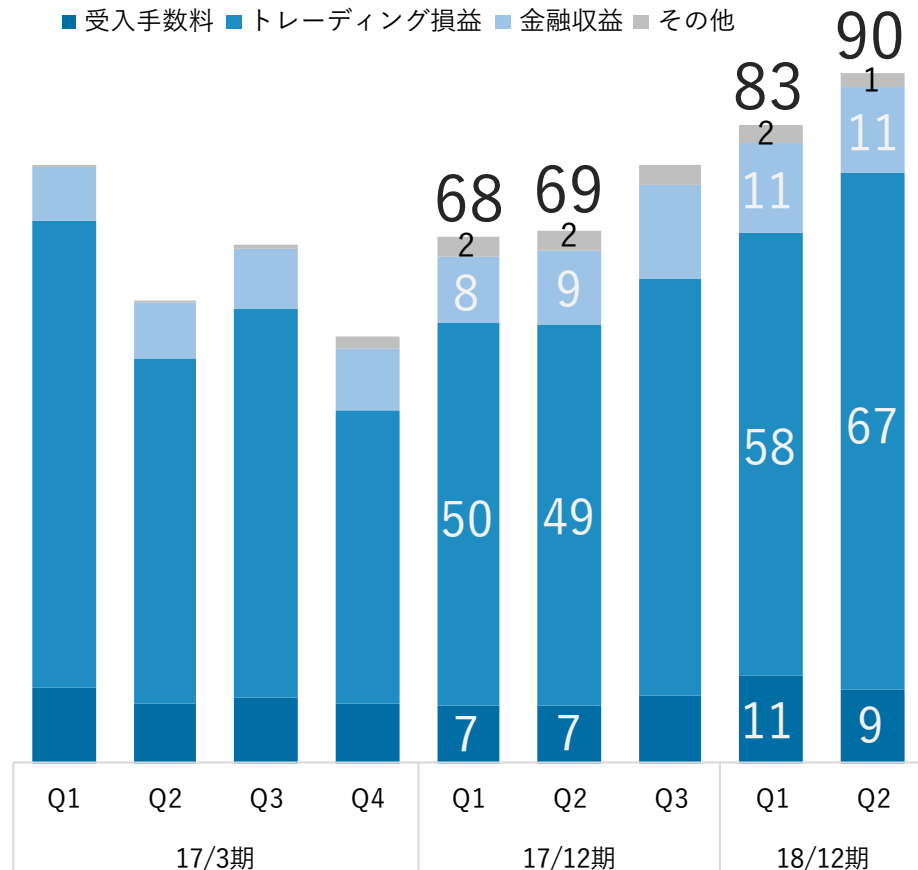
Q/Q 増収増益

仮想通貨事業が牽引

四半期業績推移 | 営業収益の内訳

(億円)

■ 受入手数料 ■ トレーディング損益 ■ 金融収益 ■ その他



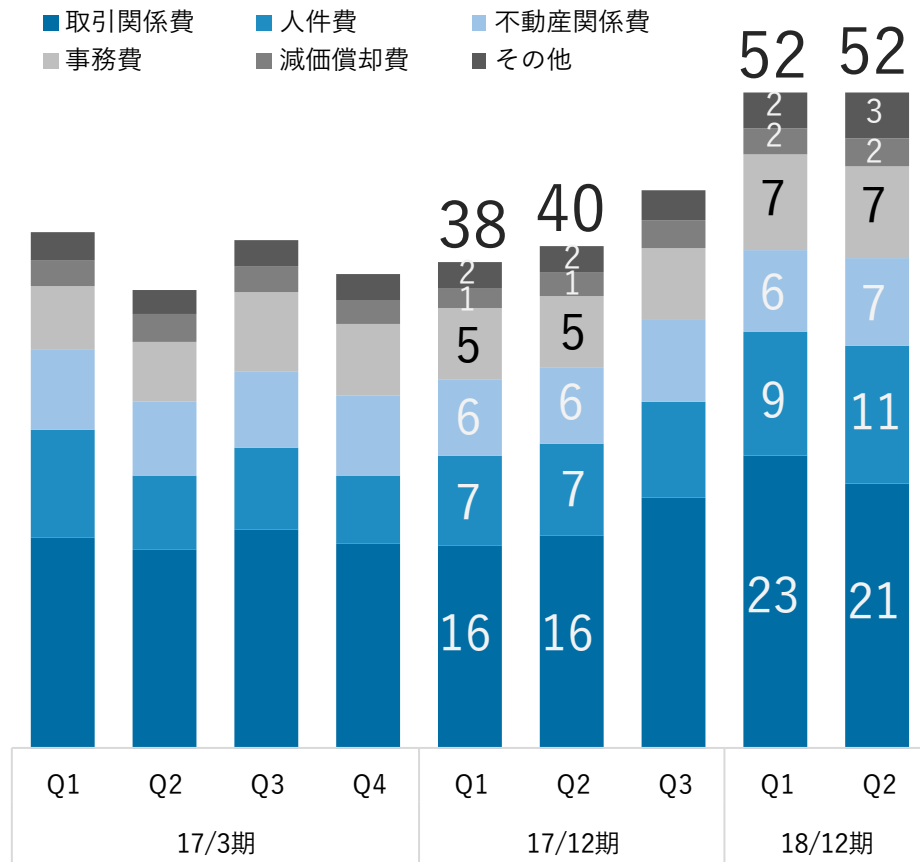
Q/Q

TR損益増収

店頭FX取引に係る収益は前四半期と同水準
 前四半期に低調だった
 仮想通貨取引に係る収益が回復

販売費及び一般管理費の四半期推移

(億円)



Q/Q
0.0%増

支払手数料 -1.2億円
人件費 +1.2億円

今後の費用見通し

50億円前後

証券・FX事業が40億円前後
仮想通貨事業が10億円前後

目標

連結配当性向
50% (年4回配当)

| 1株当たり 配当金 | Q1 | Q2 | Q3 | 期末 | 年間 |
|---------------|-------|--------------|----|-------|--------|
| 2018年 12月期 | 7.46円 | 8.98円 | - | - | - |
| 2017年 12月期 | 6.90円 | 8.50円 | - | 6.20円 | 21.60円 |

決算概要

■ 事業概況

Appendix

FX

取引高

(2018年4-6月)

244兆円

前年同期257兆円

取引高シェア

(2018年4-6月)

24.0%

前年同期24.8%

預り証拠金残高

(2018年6月末)

1,684億円

前年同月末1,434億円

株

売買代金

(2018年4-6月)

4.0兆円

前年同期5.2兆円

売買代金シェア

(2018年4-6月)

5.6%

前年同期7.5%

信用取引残高

(2018年6月末)

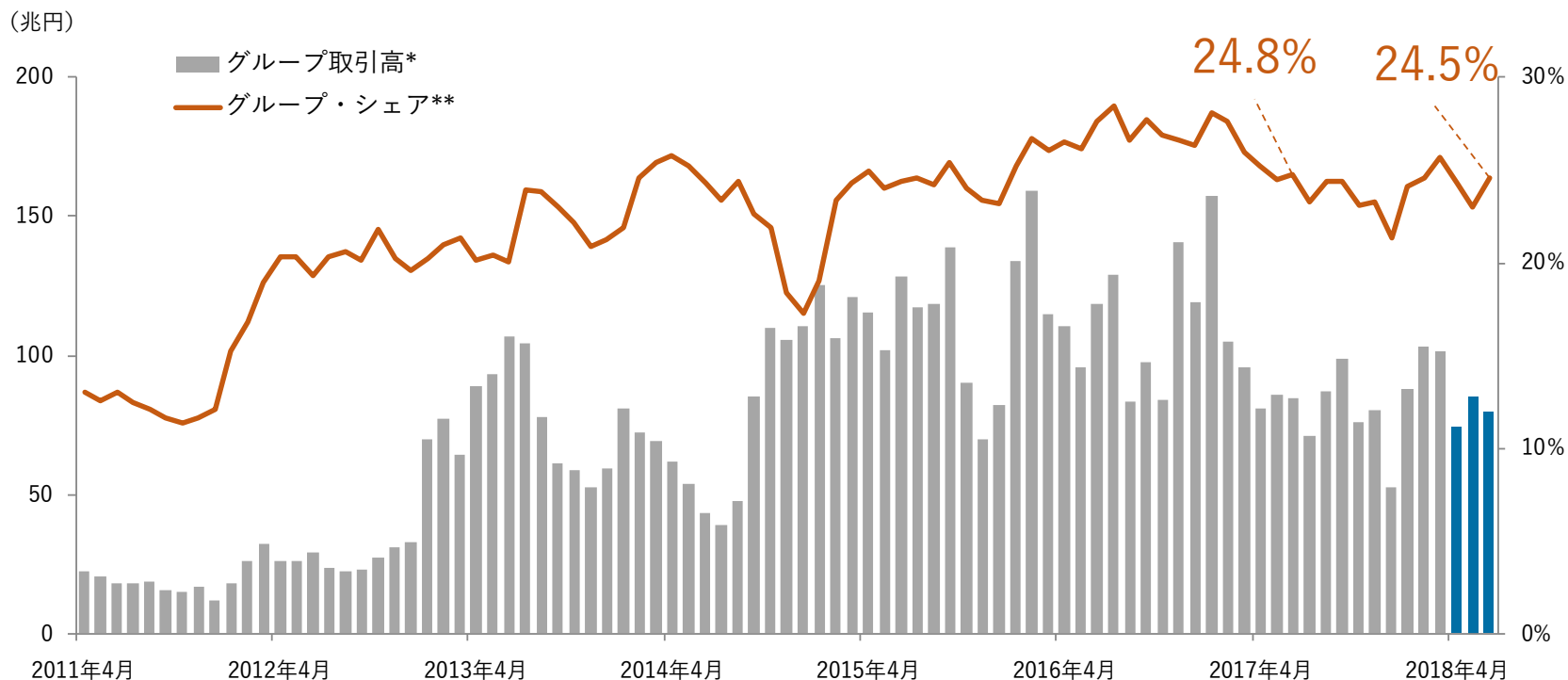
1,167億円

前年同月末1,146億円

FX取引高シェア、株式売買代金シェアは金融先物取引業協会、日本取引所グループ公表資料より当社作成
FX(店頭FX)のデータは、GMOクリック証券及びFXプライムbyGMOの合計値
株式売買代金シェアは、2市場の株式等個人委託売買代金(ETF・REIT含む)に占めるシェア

店頭FX | グループ取引高・シェアの推移

- グループシェアは横ばい

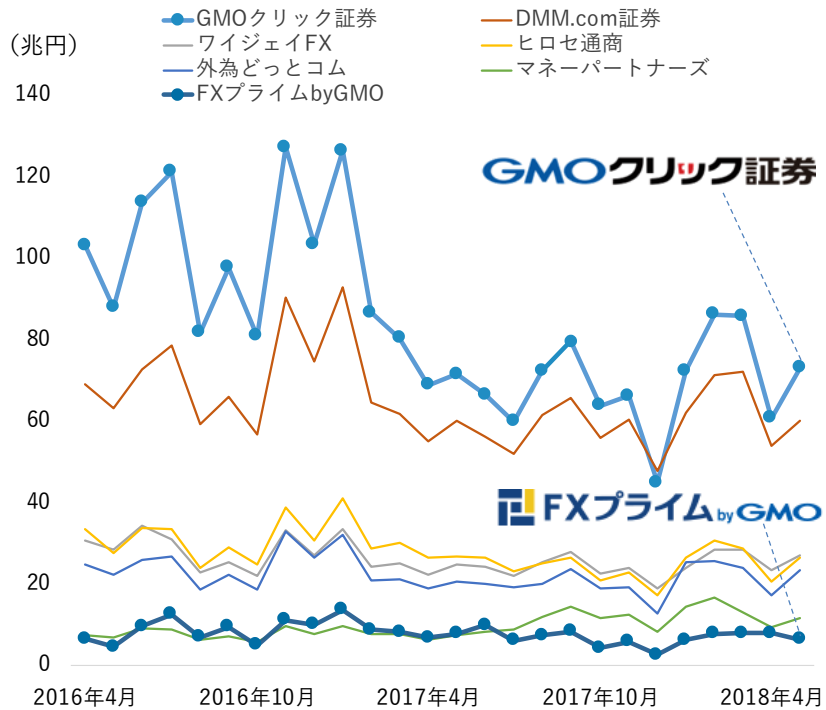


金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」より当社作成

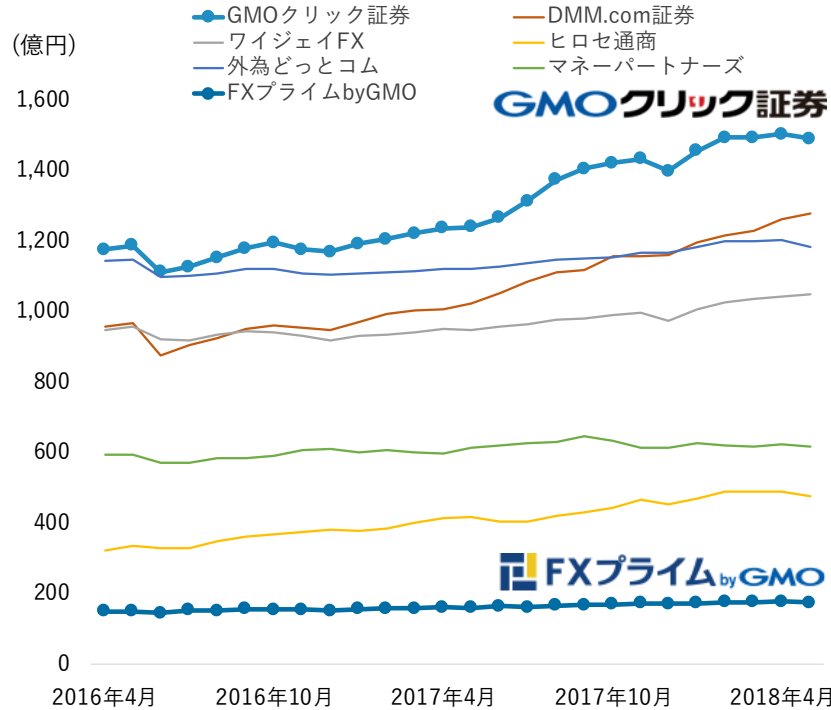
* 2015年2月以前の店頭FX取引高はGMOクリック証券単体数値。2015年3月以降は、GMOクリック証券とFXプライムbyGMOの合計値

** グループ・シェアは、金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」を市場全体として算出

店頭FX取引高



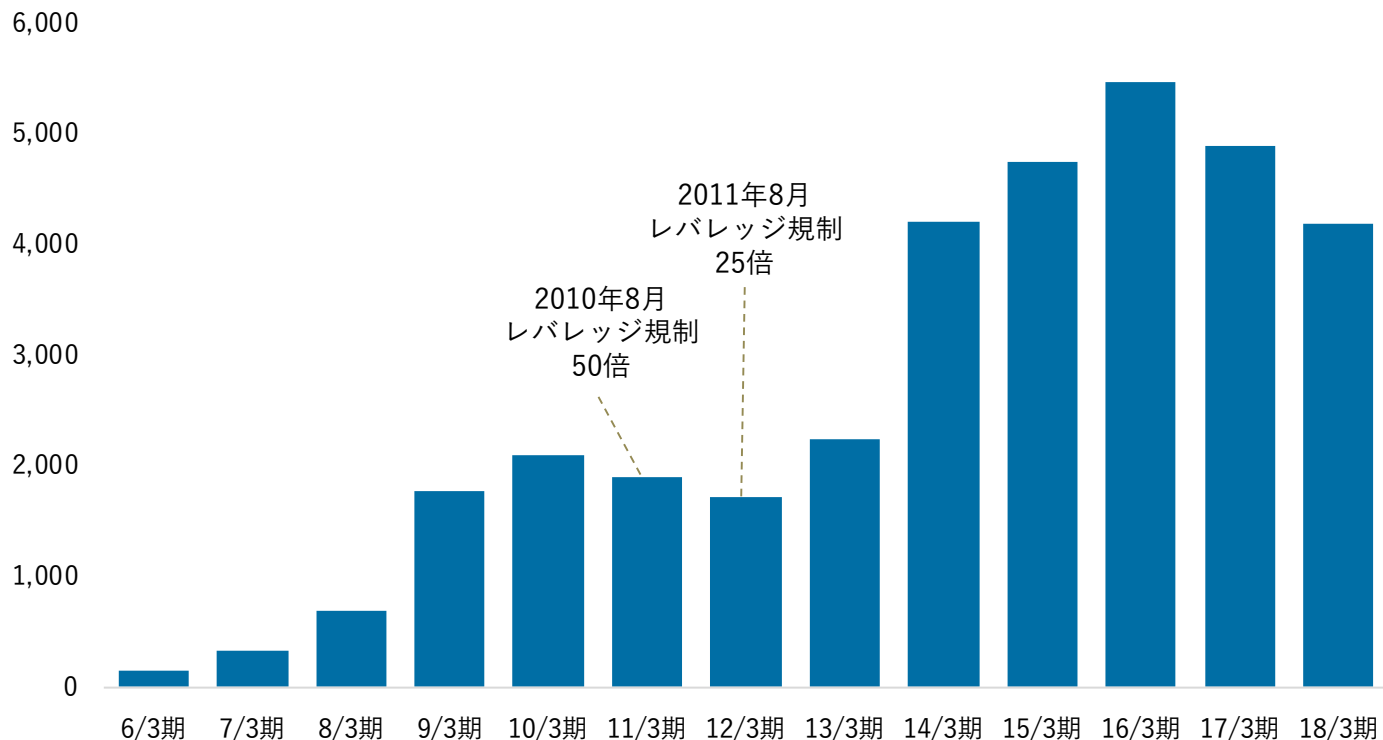
店頭FX預り証拠金残高



矢野経済研究所月次調査有力FX企業月間データランキング(2016年4月~2018年5月)より当社作成
(取引高は百万通貨は1億円として換算)

(参考) 店頭FXの規制と取引高推移

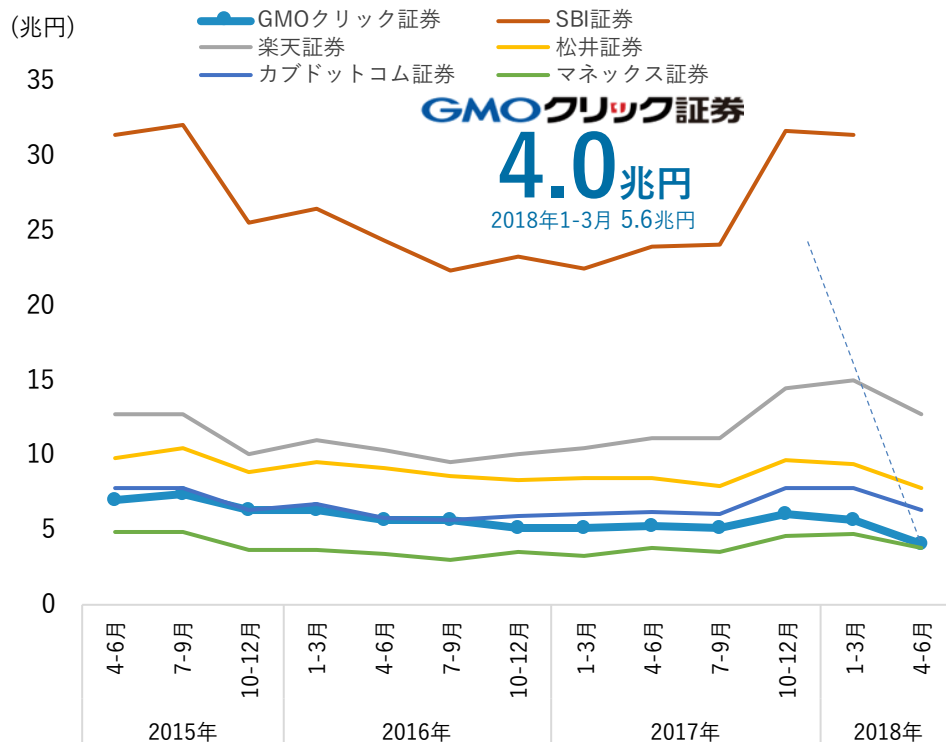
- 国内店頭FX業界ではレバレッジ規制などの環境整備等によって市場が拡大
- 2018年6月、FX業者の決済リスクを低減するため、ストレステストの厳格化等が決定



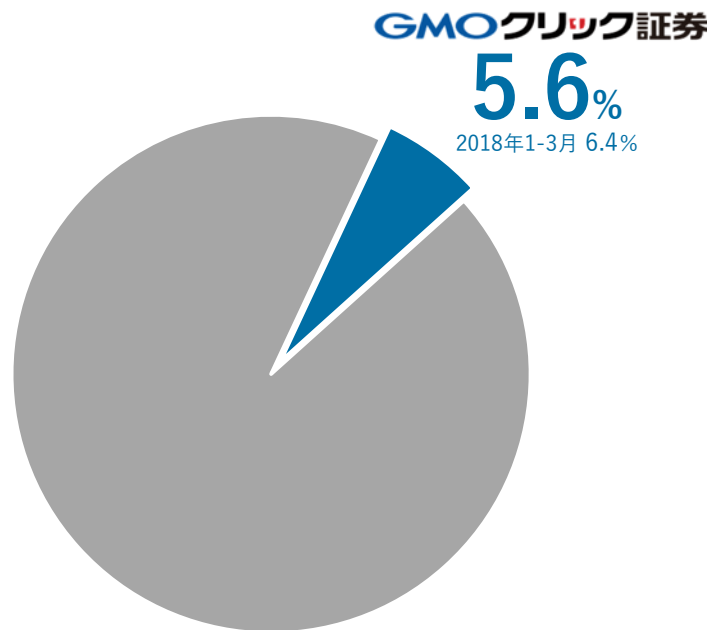
金融先物取引業協会「四半期統計データ」より当社作成

- 信用取引の大口プラン見直し(利益率改善策)による売買代金の減少

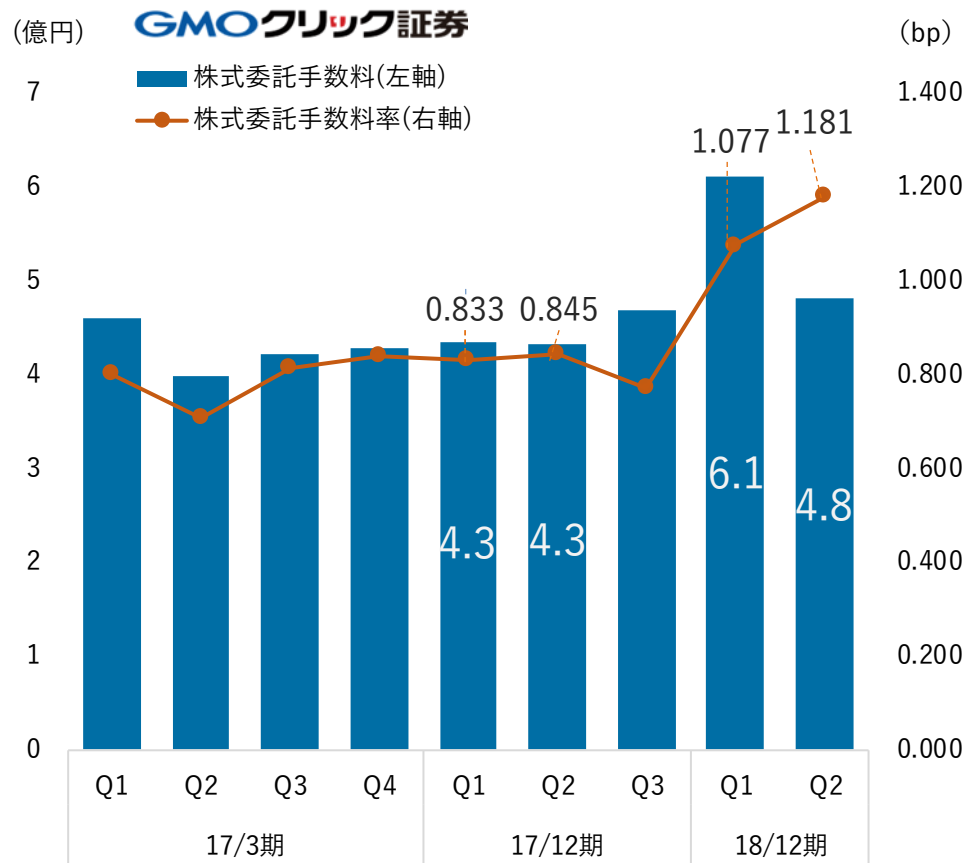
主要ネット証券株式等売買代金推移



2市場占める個人株式等委託売買代金シェア (2018年4-6月)

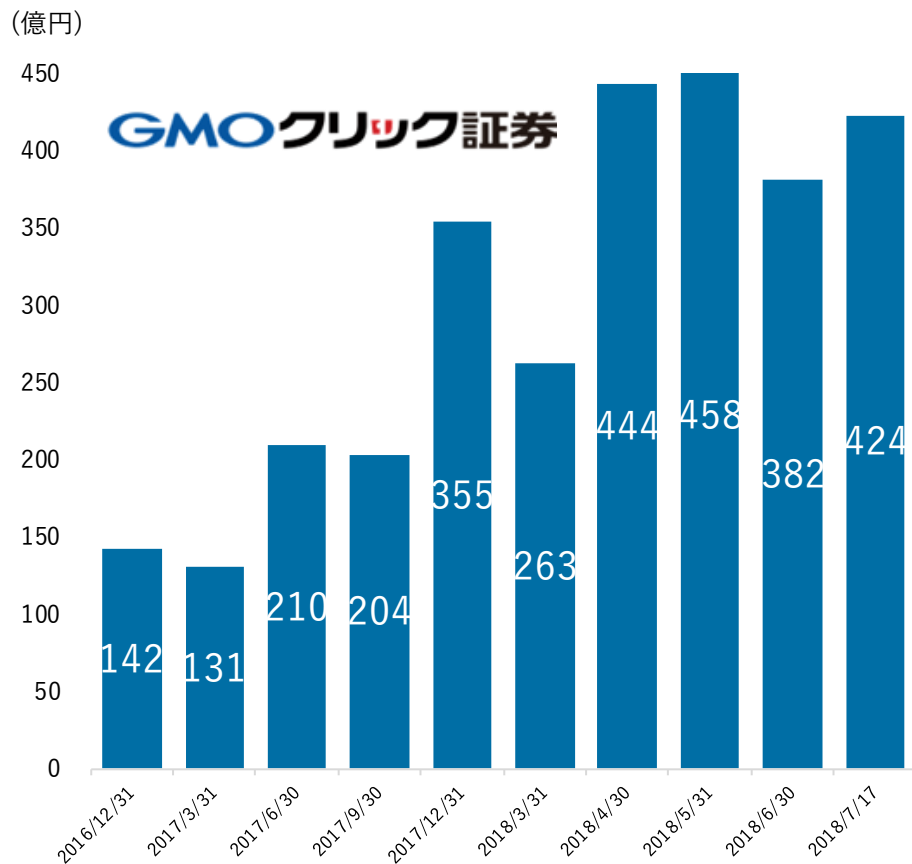


日本取引所グループ、各社公表資料より当社作成
株式売買代金シェアは、2市場の株式等個人委託売買代金(ETF・REIT含む)に占めるシェア



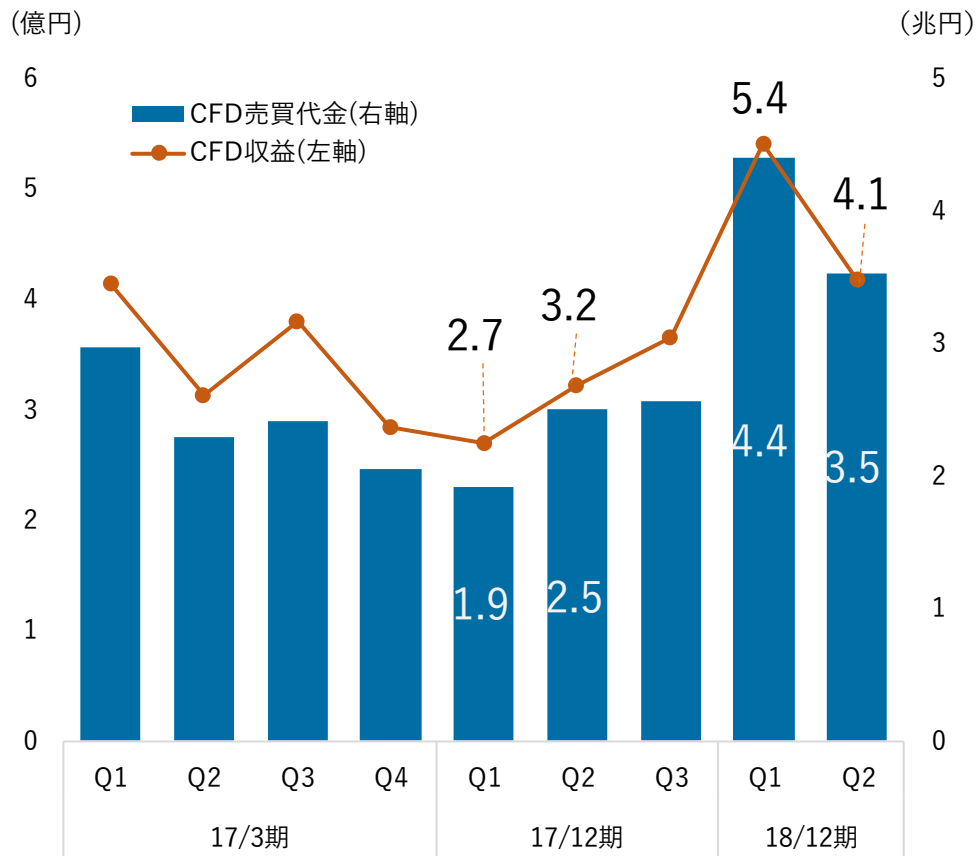
Q/Q
21.4%減収

信用取引大口プランの見直しの実施により、
当初想定どおりに利益率は改善
この金利・料金体系において、
銀証連携による顧客裾野拡大を狙う



貸株堅調

2016年10月の貸株サービス開始以降、
貸株残高は堅調に拡大するも増加率は減少
銀証連携による預り資産増加に伴う
拡大を期待



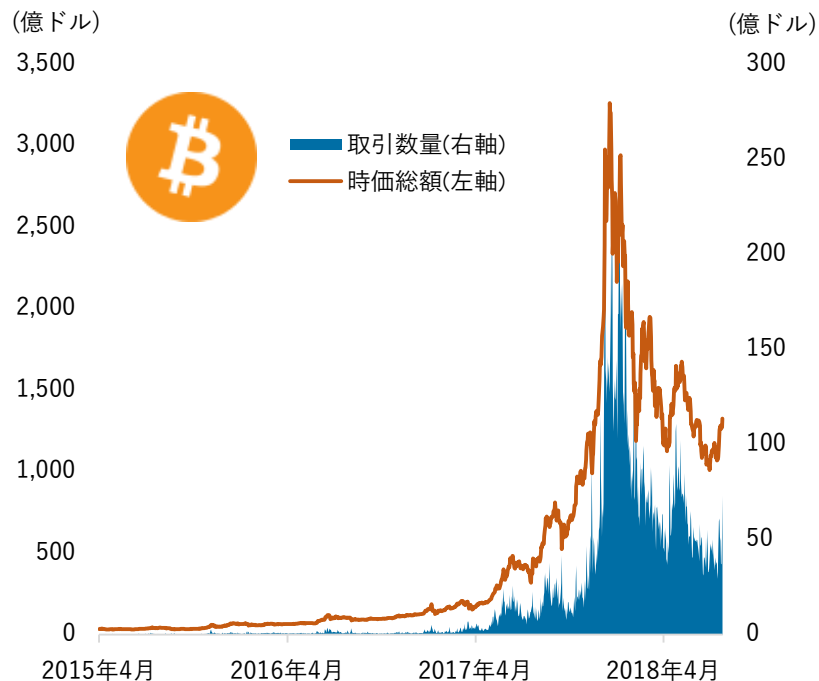
Q/Q
22.6%減収

売買代金が減少も
引き続き高水準の収益を確保

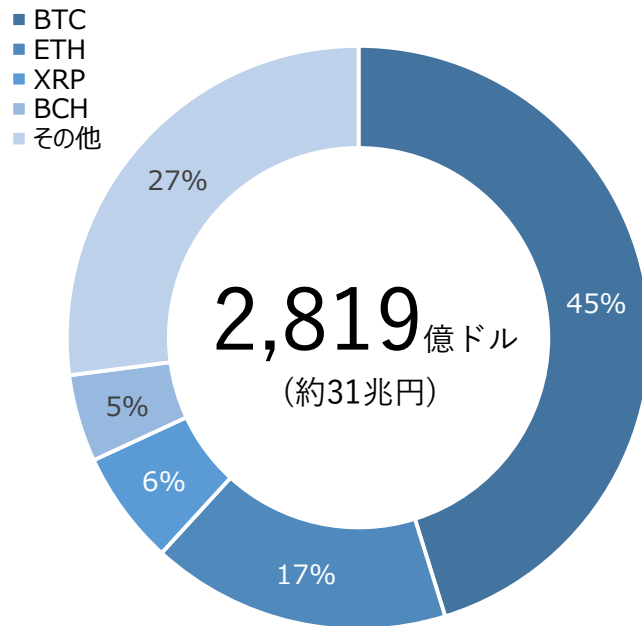
売買代金はGMOクリック証券の数値を参考として記載
収益には一部海外子会社の店頭FXに係る収益を含む

- 仮想通貨の時価総額は騰落を繰り返し、前四半期と同水準で推移。国内仮想通貨業界は、業界全体で自主規制等の環境を整備し成長軌道に乗せていく必要がある

ビットコイン時価総額と取引量の推移



仮想通貨全体の時価総額

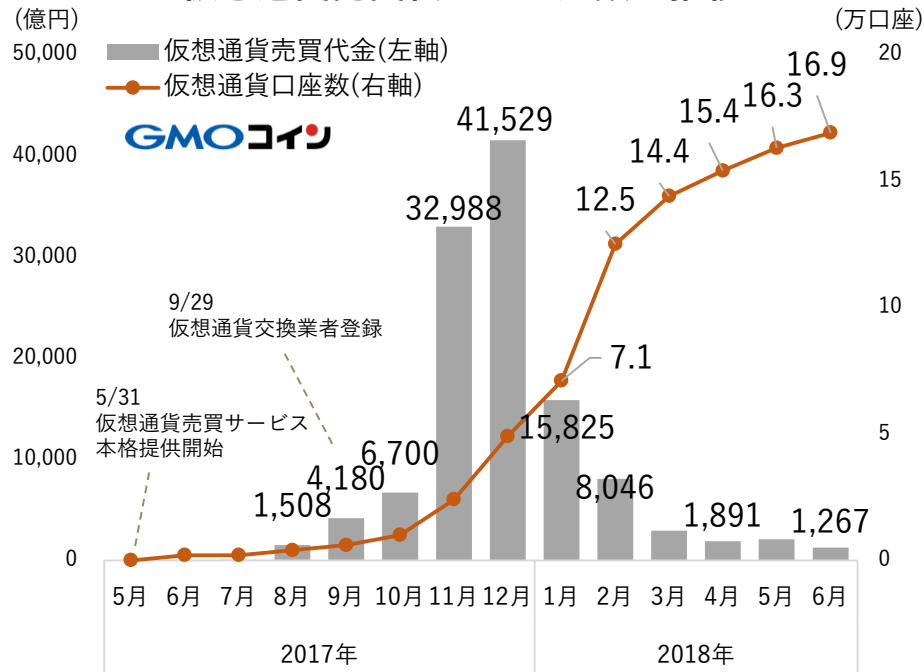


CoinMarketCap調べ(2018年7月22日時点)

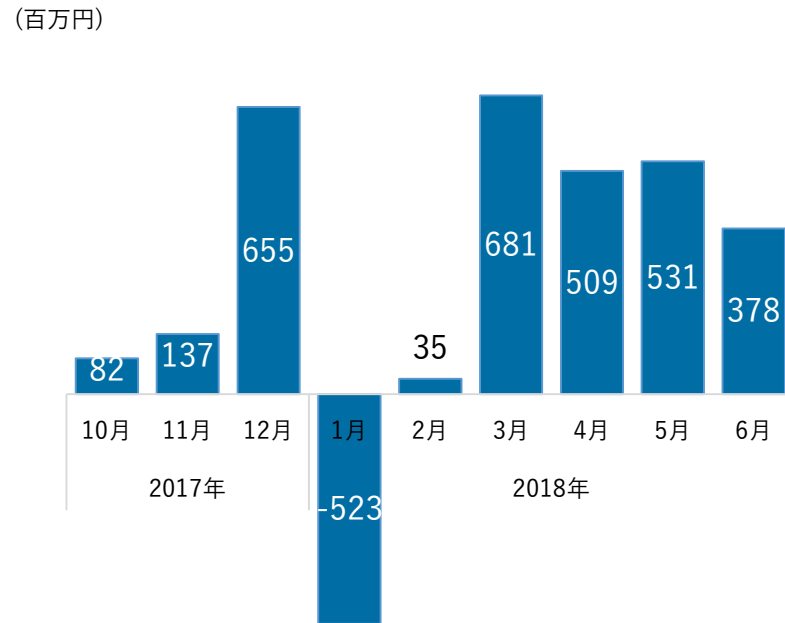
仮想通貨 | GMOコインの状況(1/2)

- ボラティリティの減少を背景に、売買代金は減少傾向で推移しているものの口座数は伸長。カバーロジックの見直し等の各種施策の実施により収益は安定的に推移

仮想通貨売買代金と口座数の推移



仮想通貨収益*の推移

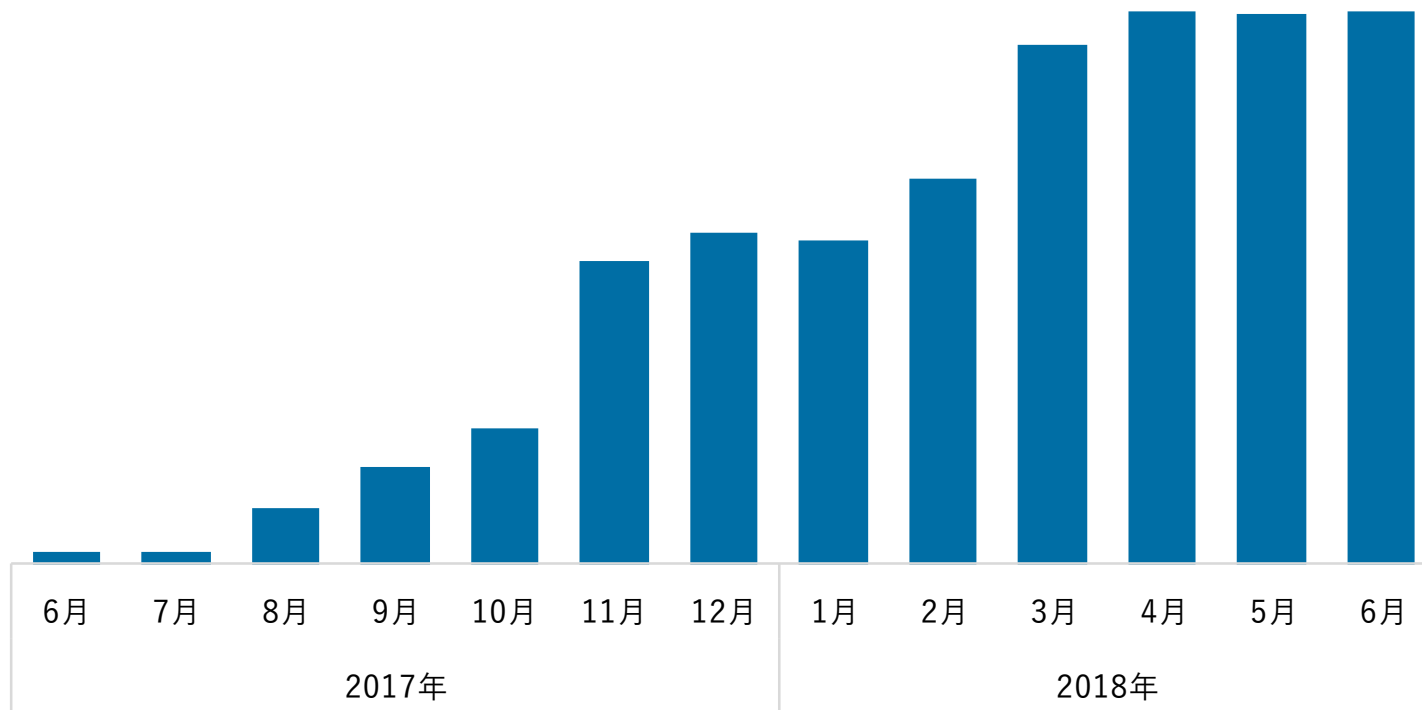


*2018年3月以前の仮想通貨収益は、セグメント間の内部営業収益又は振替高を含む

- 顧客預り資産(ビットコイン)の数量は4月以降は横ばいで推移

(BTC)

顧客預り資産(ビットコイン)の数量の推移



概要

対応状況

サービス利便性向上

シェア拡大に向けて
サービス徹底強化



貸仮想通貨サービス、仮想通貨FXに
アルトコイン銘柄を追加。
取引所サービスなども開始予定

プロモーション強化

顧客基盤拡大に向けて
効果的な広告を実施



GMOコインがマリーンズ、FC琉球の
スポンサーになる等スポーツ支援中心
のプロモーションを実施

カバーモデルの確立

仮想通貨に最適化した
カバーモデルの確立



カバーロジックの見直しを継続中

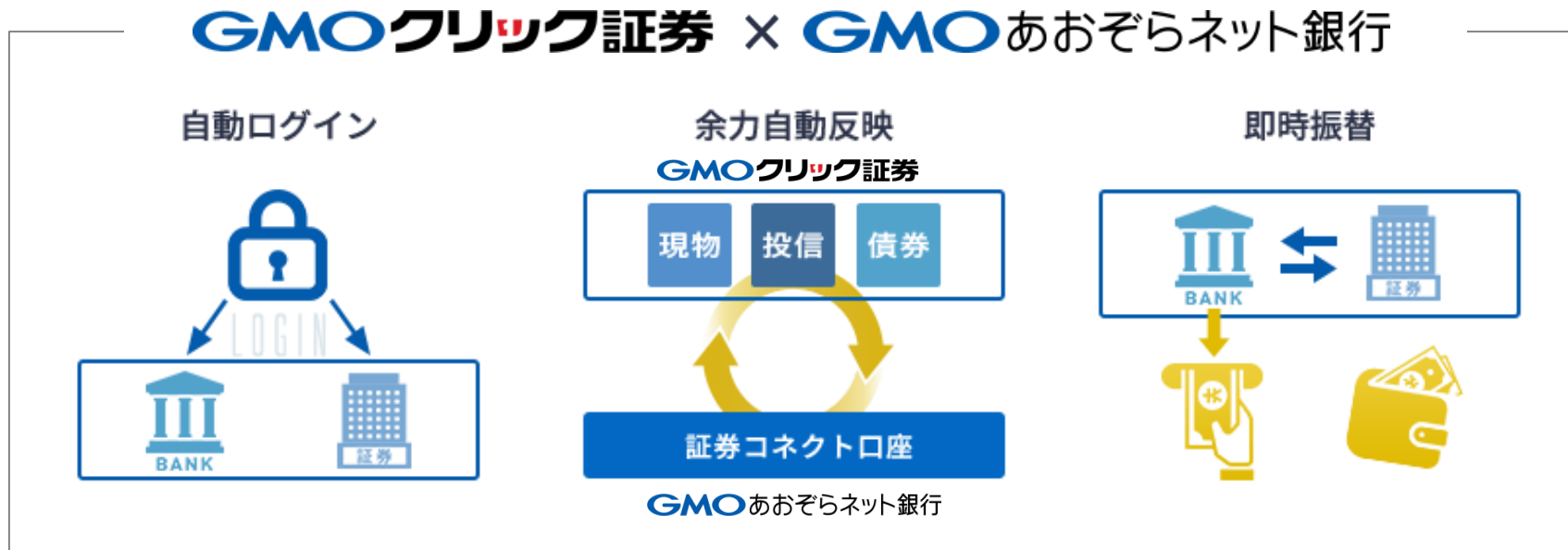
システムリスク
管理態勢の強化

業容拡大に応じた
体制の強化



業務改善命令の指摘事項に対応中
(障害発生後の速やかな復旧等)

- 2018年7月17日にGMOあおぞらネット銀行が事業を開始
- 銀行と証券の口座連携サービス「証券コネクト口座」の金利は年0.15%* (キャンペーン上乗せ分+0.04%)、新たな顧客流入に期待



*税引後年0.1195%。2018年8月3日(予定)~2018年12月31日の間に証券コネクト口座を開設された場合のキャンペーン期間中の優遇金利(証券コネクト口座開設日から6ヵ月後の末日まで適用)。今後、金融情勢等により予告なく変更する場合があります。

決算概要

事業概況

■ Appendix

営業収益（セグメント別/商品別）の四半期推移

| (単位：百万円) | 17/3期 | | 17/12期 | | 18/12期 | |
|----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | Q4 | Q1 | Q2 | Q3 | Q1 | Q2 |
| 証券・FX事業 | 5,419 | 6,612 | 6,695 | 6,676 | 7,923 | 7,409 |
| 株式・ETF等 | 480 | 484 | 487 | 521 | 679 | 537 |
| 先物・オプション | 55 | 54 | 42 | 81 | 109 | 59 |
| くりっく365 | 155 | 126 | 131 | 129 | 194 | 179 |
| 通貨関連店頭デリバティブ | 3,615 | 4,823 | 4,725 | 4,353 | 5,218 | 5,095 |
| CFD | 284 | 270 | 322 | 365 | 541 | 418 |
| 金融収益 | 814 | 841 | 961 | 1,209 | 1,171 | 1,110 |
| その他 | 13 | 11 | 23 | 15 | 9 | 8 |
| 仮想通貨事業 | — | — | — | 875 | 192 | 1,420 |
| 仮想通貨 | — | — | — | 875 | 192 | 1,420 |
| その他 | 160 | 258 | 264 | 274 | 230 | 177 |
| その他 | 160 | 258 | 264 | 274 | 230 | 177 |
| 調整額 | — | — | — | — | △0 | 0 |
| 調整額 | — | — | — | — | △0 | 0 |
| 営業収益 | 5,580 | 6,871 | 6,959 | 7,826 | 8,346 | 9,007 |

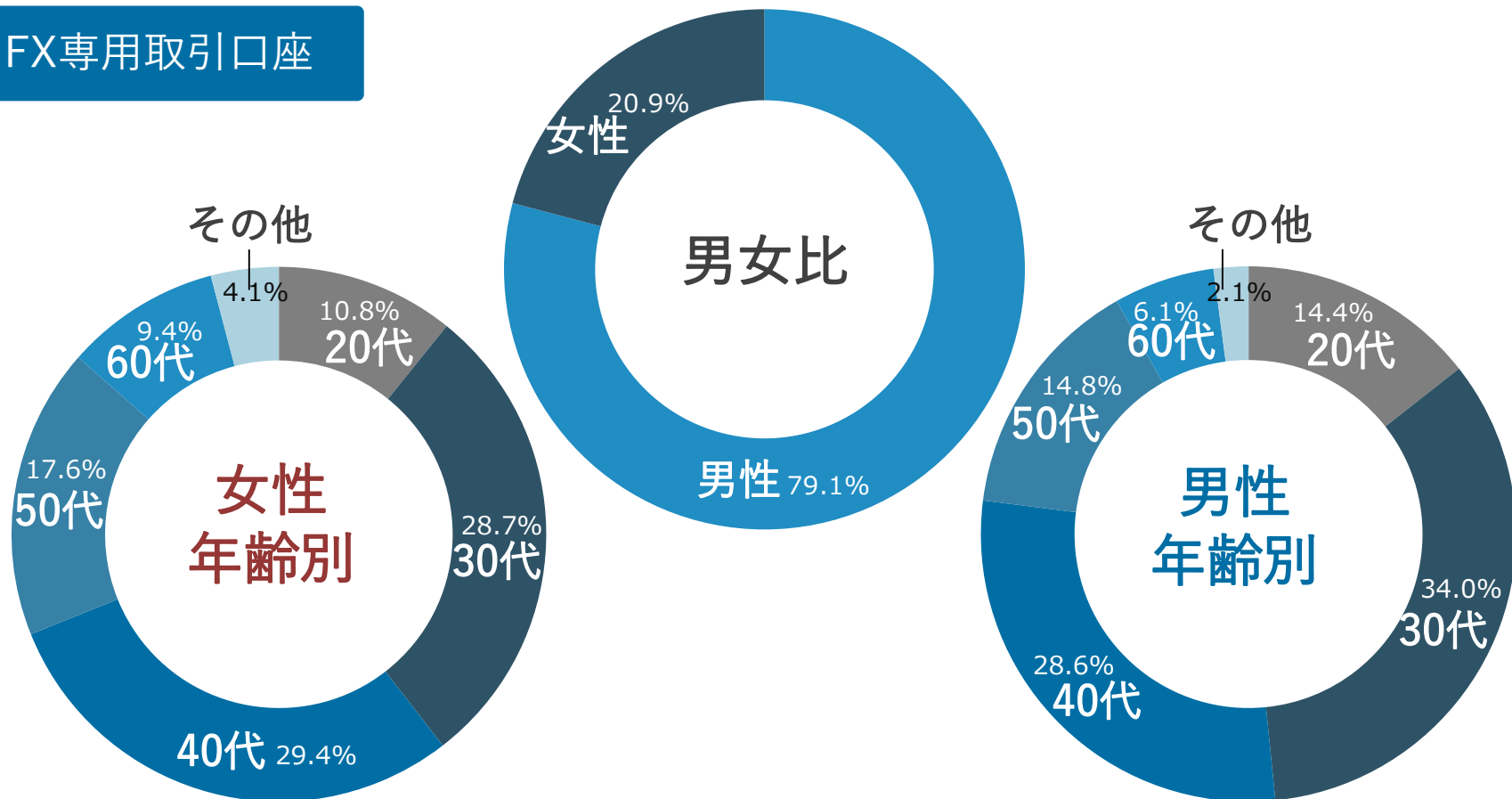
当社は、2018年度より報告セグメントに新たに「仮想通貨事業」を加え、従来の「金融商品取引業」は「証券・FX事業」へと名称を変更しました。これに伴い、過去の数値についても組み替えて表示しています。

株式・ETF等は、株式・maneo・投資信託の取引から得られる受入手数料を含む
CFDは、一部海外子会社の店頭FXに係る収益を含む

販売費及び一般管理費の四半期推移

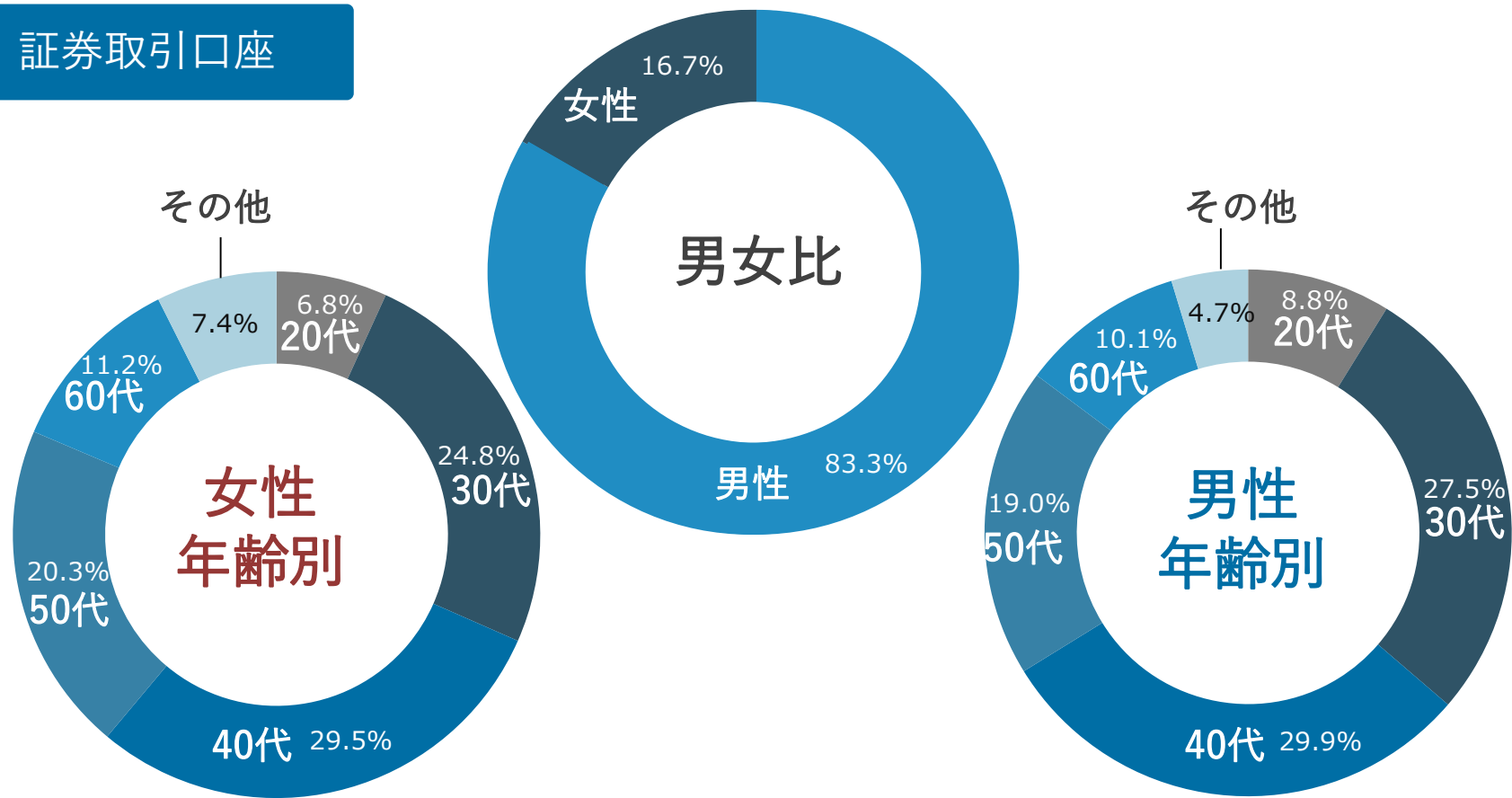
| (単位：百万円) | 17/3期 | 17/12期 | | | 18/12期 | |
|-------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | Q4 | Q1 | Q2 | Q3 | Q1 | Q2 |
| 取引関係費 | 1,631 | 1,620 | 1,694 | 2,012 | 2,346 | 2,112 |
| （内、広告宣伝費） | 819 | 737 | 769 | 979 | 1,214 | 1,154 |
| 人件費 | 553 | 718 | 744 | 758 | 983 | 1,104 |
| 不動産関係費 | 626 | 604 | 610 | 648 | 657 | 703 |
| 事務費 | 585 | 578 | 567 | 587 | 754 | 731 |
| 減価償却費 | 192 | 164 | 186 | 211 | 212 | 216 |
| 租税公課 | 167 | 167 | 179 | 173 | 177 | 177 |
| 貸倒引当金繰入額 | △ 1 | △ 1 | 1 | △ 9 | 18 | 115 |
| のれん償却額 | — | — | — | 40 | 40 | 40 |
| その他 | 29 | 38 | 25 | 33 | 52 | 43 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,785 | 3,891 | 4,009 | 4,456 | 5,244 | 5,245 |

FX専用取引口座



※2018年6月末日現在

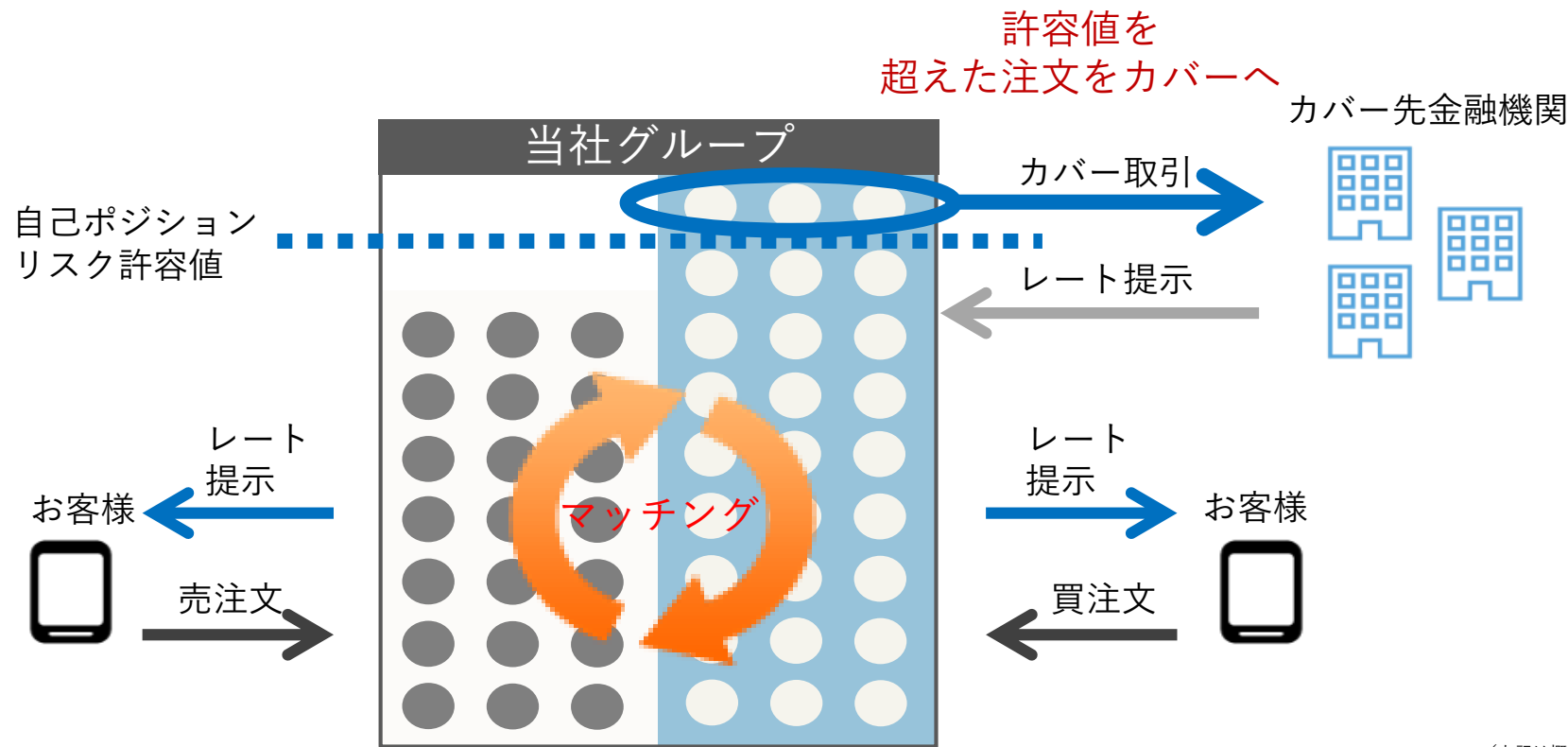
証券取引口座



※2018年6月末日現在

ビジネスモデル（店頭デリバティブ取引）

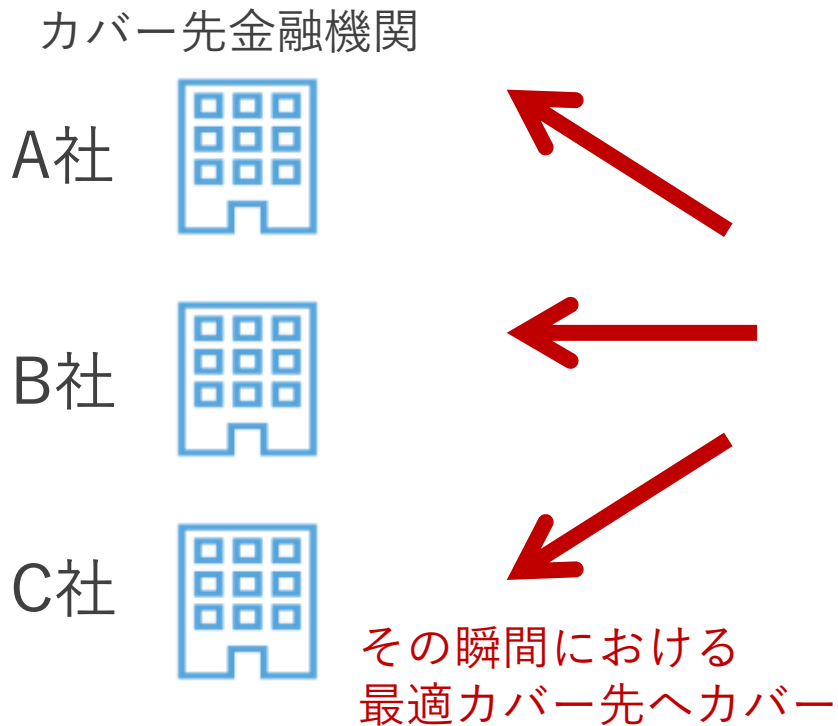
効率的なマッチングと徹底したリスク管理を追求



(上記は概念図)

ビジネスモデル（店頭デリバティブ取引）

細かなチューニングによりカバー取引を最適化

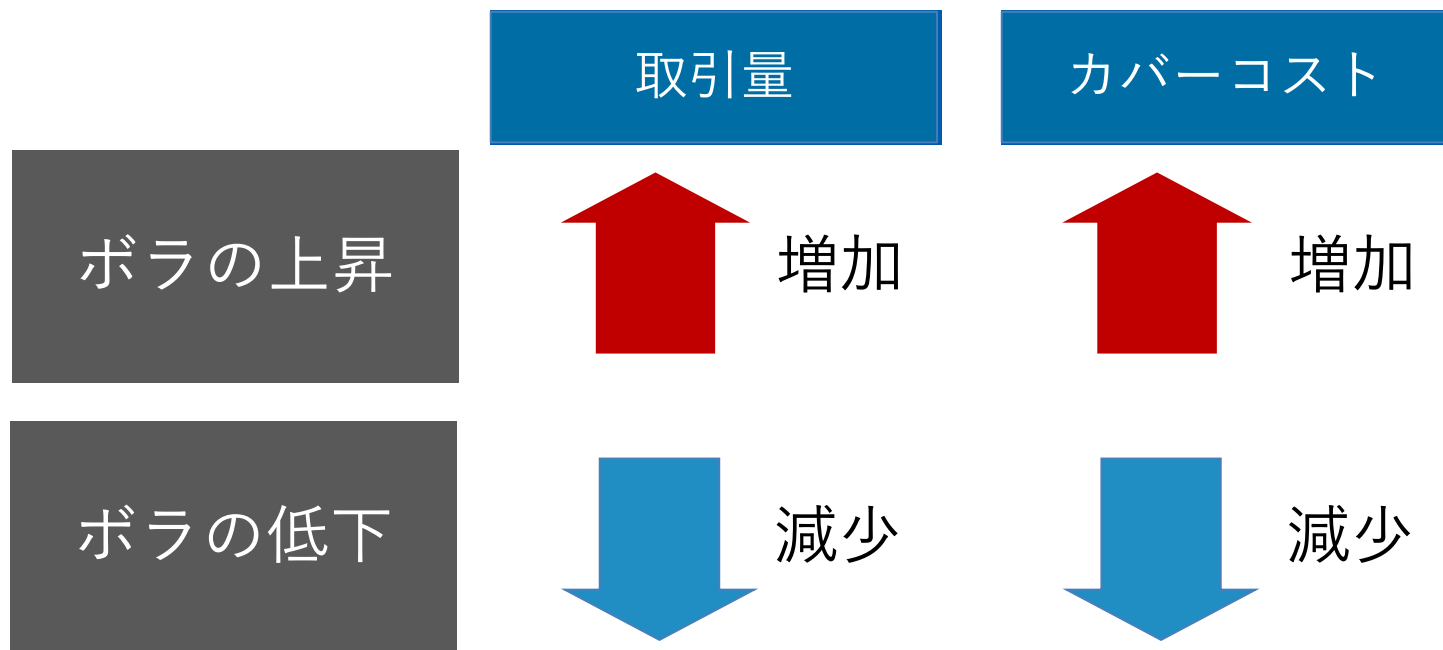


（上記は概念図）

ボラティリティと収益の関係

収益
構造

対顧客取引
(対顧客スプレッド × 取引数量) - (カバー取引
カバースプレッド × カバー数量)



(上記は概念図)

免責事項

本資料には、2018年7月27日現在の将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。またマーケットシェアなどの数値について一部弊社推計値が含まれております。調査機関によって異なる可能性があります。

また本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おきください。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではありません。